

庄荣地区



## 庄栄地区 ワークショップ実施概要

テーマ	コロナでストップしたコミュニケーションを復活させよう！		
実施内容	第1回	令和4年8月28日(日) 18時-20時	25人
		・庄栄地区の活動を考えよう	
	第2回	令和4年9月25日(日) 18時-20時	22人
		・庄栄地区のまちづくりテーマを深めよう	
	第3回	令和4年11月13日(日) 18時-20時	23人
		・庄栄地区で進めてみたいまちづくりアイデアを考えよう	
結果概要	<p>コロナ禍でイベントや交流の機会が減り、地域の元気がなくなってきている中で、地域の在り方を見直すことや、再び地域活動・イベントの再開等に向けて、下記の視点でワークショップを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体同士の交流を通して、活動の見える化を図る</li> <li>・改めて地域の魅力や課題を見直し、ワークショップ後のアクションにつなげる</li> </ul> <p>○子育て・子育ち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マンションや新しい住宅地が増えて子どもが増えているが、若い世代と地域のつながりが弱い。</li> <li>・子育て関連の取組を頑張っており、より知ってもらいたい。 ⇒今年度から始めた「庄フェス」をアップデートしながら続けていこう！ ⇒学校などと連携して、周知や企画などを考えていこう ⇒庄栄地区のSNSの立ち上げやPTAブログの発信に力を入れる</li> </ul> <p>○地域の居場所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居場所と言える場所があまりない。若い世代なども電車で遊びに行くので、地域での交流などがもっとできると良い。 ⇒今年度から「いきいきサロン」の取組が始まった。最初はお年寄り向けの居場所として頑張っているが、今後の展望としては、老若男女が混じりながら交流できる居場所になるように考えていきたい。</li> </ul> <p>○にぎわいづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと祭りは地域の大事なイベントだったが、規模が大きくなりすぎて、運営の負担が大きくなり、維持できなくなってしまった。 ⇒ふるさと祭りの復活を考えよう。そのためには、負担が大きくなりすぎないように、小さく始めること、話し合っただけで会則を作る事、暑い時期から過ごしやすい時期に実施時期を見直す、などの運営の見直しをしよう。</li> </ul>		

	<p>○防災まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庄栄地区には自主防災組織がないため、防災の主体がなく、個々では考えているけれど、地域としての動きにできていない</li> </ul> <p>⇒防災の体制づくりを目指して、まずは話し合いをするところからスタートしよう。</p>
<p>来年度以降 に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災については担い手がないことが課題だが、地域の課題として再認識できた。体制づくり等について今後も考えていく。</li> <li>・コロナ禍を経て再び、話し合いの場や賑わいづくりの活動に取り組む団体・人が増えてきた。団体同士で協力・連携しながら、盛り上げていきたい。</li> <li>・ふるさと祭りの運営の在り方については、公民館などを中心に引き続き考えていく。</li> </ul>

【WSの様子：写真】

<p>第1回</p>		
<p>第2回</p>		
<p>第3回</p>		

# 第1回資料

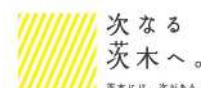
---



## 庄栄地区 まちづくりワークショップ

### 第 1 回

2022年8月28日（日） 18:00-20:00



地域活動の活性化に向けたワークショップ

[ 庄栄地区 ]

## 地域コミュニティの現状

### 【背景】

- 少子高齢化に伴う人口減少や人口構造の変化
- 人々の価値観の変化
- ライフスタイルの多様化
- 核家族化、単身世帯や共働き世帯の増加



### 【現状（課題）】

- 自治会加入率の低下（54.9%）
- 高齢化による担い手不足
- 自治会等の役員就任への負担感
- 地域活動に対する負担感





【影響】

- 自治会等への未加入や脱会
- 防犯、防災、福祉、環境などの自治会機能が縮小

「安全・安心で住みよいまちづくり」  
への影響が懸念される。

そこで！！



## ワークショップについて

平成30年度から、各小学校区でワークショップを実施しています。

地域コミュニティ基本指針

⇒「地域が主体的に行う取組」の一つである  
「協議の場づくり」として実施。

目標「担い手の充実、活動への参画」





# ワークショップ 全3回の流れ

第1回	庄栄地区の活動を考えよう	8/28 (日) 18時-20時
第2回	庄栄地区のまちづくりテーマを 深めよう	9/25 (日) 18時-20時
第3回	庄栄地区で進めてみたい まちづくりアイデアを考えよう	11/13 (日) 18時-20時



## 本日の目的

- ①お互いのことを知ろう
- ②庄栄地区のこれからを考えよう

18:00- 開会挨拶・ワークショップの説明など

18:15- 話し合いの準備運動 (アイスブレイク)

18:20- 自己紹介

18:30- グループワーク①

19:00- グループワーク②

19:40- 全体共有

19:55- 今後に向けて・閉会挨拶



## 話し合いで大切にしたいこと

1. みんなの話は反対せずフムフムと聞こう
2. 自分の話は簡潔にサクサクと話そう
3. 思っていることをドンドン出そう
4. みんなで力を合わせてワイワイ盛り上がろう
5. 楽しくニコニコと参加しよう

グループにはファシリテーターと呼ばれる、話し合いのサポート役がいます。  
(話をしやすい場にしたり、整理したり、より良い話し合いを促す人です)



## 話し合いで大切にしたいこと

合意形成の場ではありません

アイデアを出し合い方向性を見出す場

役割や権限・責任は  
一旦横に置いておきましょう！



# 話し合いの準備運動 (アイスブレイク)

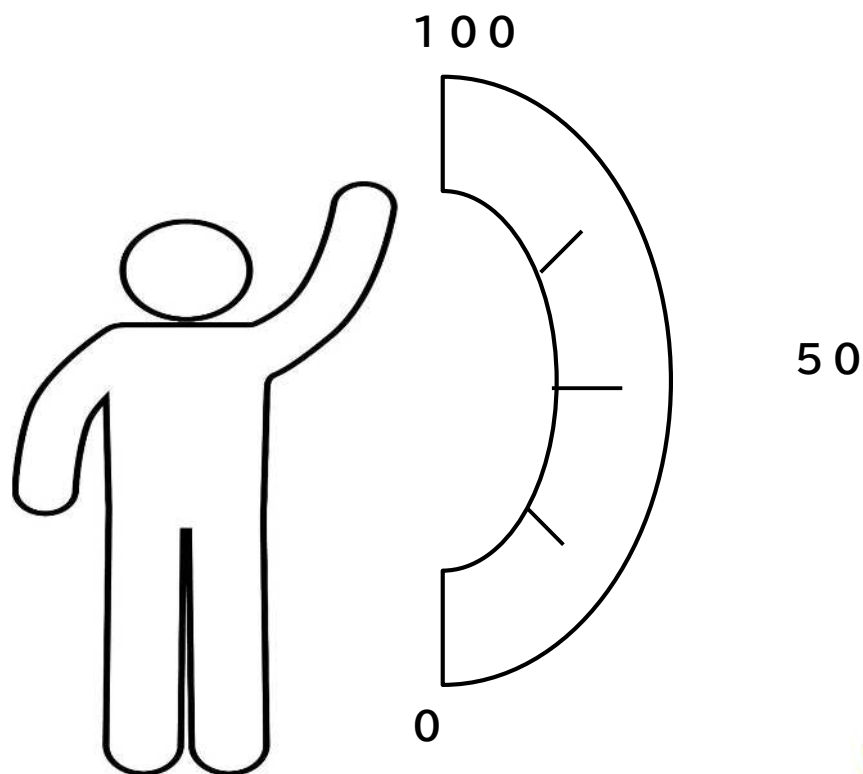
## 手上げゲーム

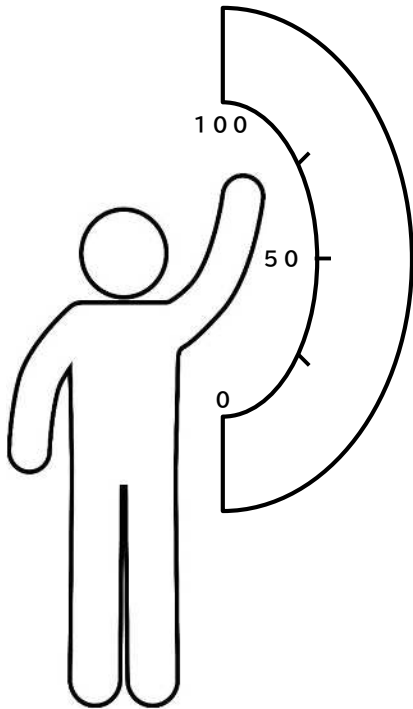
いくつかの質問に対する答えを  
手を挙げる角度で表現するゲーム  
周りの人の手の角度も見てくださいね

接触せずに・・・

身体も少し使えて・・・

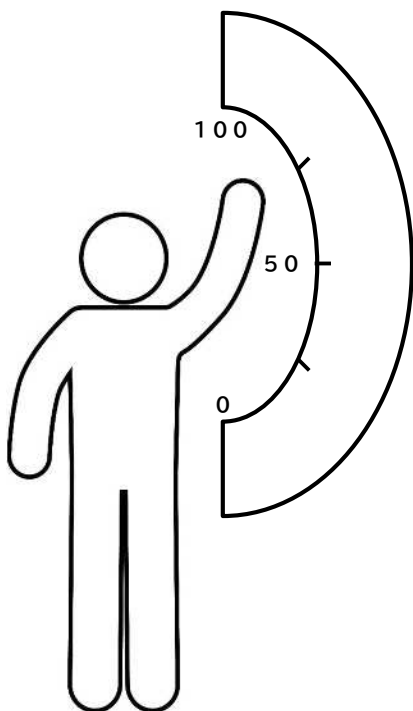
参加者の考え方の一端が見える





問1)  
今日は、2022年で、  
〇〇%経過しているでしょうか？

→正解) 64.7% (236日目)



問2)  
茨木市の高齢化率 (65歳以上人口率)  
は何%でしょうか？

→正解) 24.3%

\*住民基本台帳 (2022年7月31日現在)

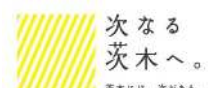
ちなみに・・・

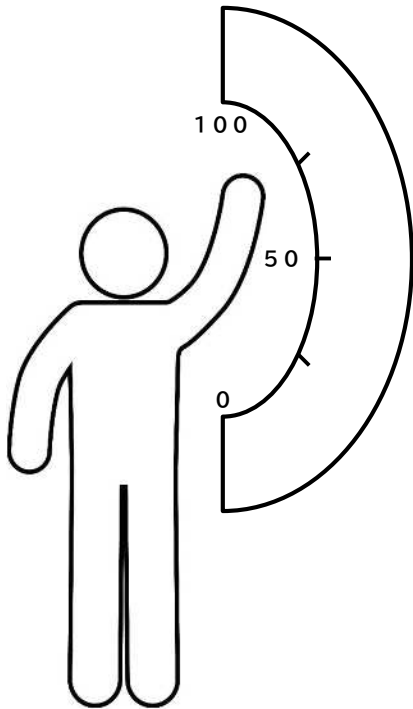
全 国：28.5%

\*総務省・住民基本台帳 (2022年1月1日現在)

大阪府：27.2%

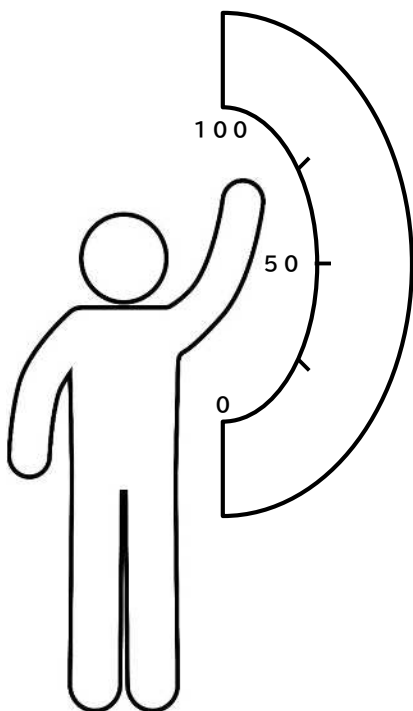
\*住民基本台帳 (2022年7月1日現在)





問3)  
今日の朝ごはんの満足度は  
何点でしたでしょうか？

次なる  
茨木へ。  
茨木には、次がある。



問4)  
庄栄地区の愛着、  
LOVE指数は何%でしょうか？

次なる  
茨木へ。  
茨木には、次がある。

# グループに分かれて話そう

## 自己紹介

①名前

②所属団体等と  
活動内容



# グループでの話し合い

①お互いのことを知ろう

②庄栄地区のこれからを考えよう

## 話し合いのゴール（目的）

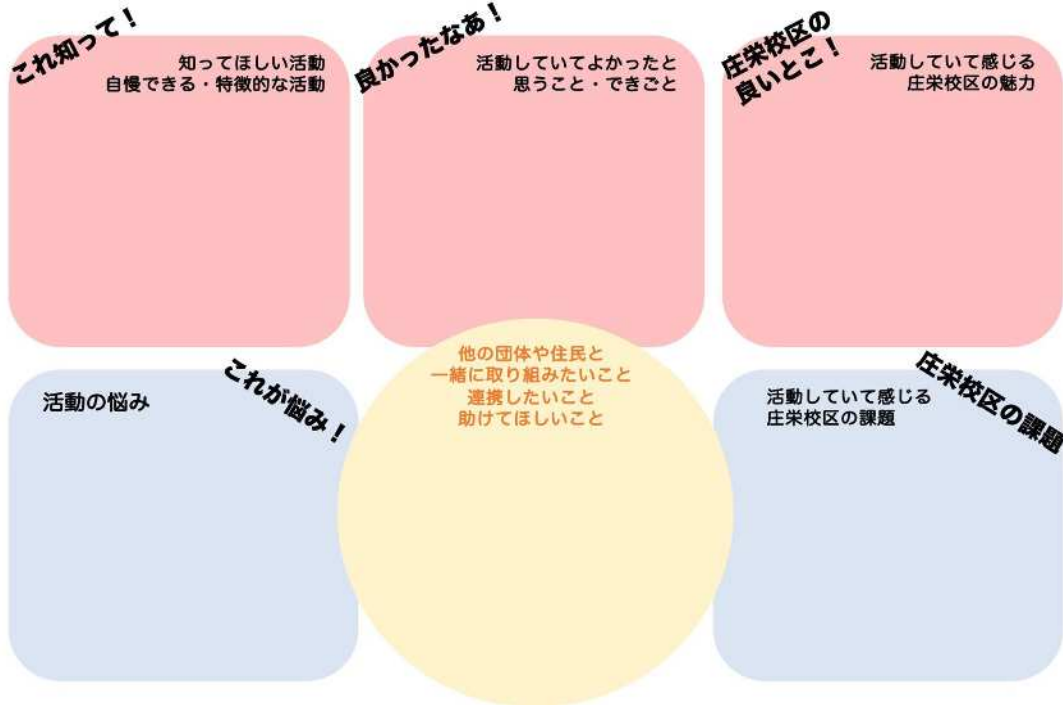
庄栄地区の魅力・課題や、取り組んでいる地域活動等を各班で共有することで、今後取り組んでいくべき課題や、実施したい新しい活動アイデア等について、参加者同士で共有する

→今回話し合った将来像に向けて、次回以降にアイデアを検討するので、今回は魅力や課題をできるだけたくさん見つけましょう



# ①お互いのことを知ろう

## 活動紹介



# ②庄栄地区のこれからを考えよう

前半を踏まえて、こうなって欲しい、  
こんなことがしたいを出し合う

<p><b>現在</b>地域活動をしている中で・暮らしている中で ①</p> <p>庄栄校区の「良さやよかったこと」</p>	<p><b>将来</b>地域活動をしている中で・暮らしている中で ④</p> <p>庄栄校区が「こうなれば良い・こんなふうにしたい」</p>
<p><b>現在</b>地域活動をしている中で・暮らしている中で ②</p> <p>庄栄校区のまちの「困ったこと・課題」</p>	<p><b>将来</b>地域活動をしている中で・暮らしている中で ③</p> <p>庄栄校区が「こうなれば困る・こうなってほしくない」</p>

次なる  
茨木へ。  
茨木には、次がある。

## 全体共有

各グループから  
話し合いの結果を共有

1 グループ4分程度でお願いします

次回は今回の発表内容を踏まえて、  
話し合いの材料を用意します。

## 次回（第2回）予定

今日話し合った、庄栄の将来像に向けて・・・  
庄栄地区の  
まちづくりのテーマを深めよう

2022年9月25日（日）  
18時 ～ 20時



# 第1回ワークショップのまとめ

## 庄栄校区の「これから」をテーマに、

- 簡単な自己紹介とアイスブレイク
- 所属団体と活動内容の紹介
- 庄栄校区のこうなって欲しいという将来像

を話し合いました。



### 1班

## 庄栄校区の将来のありたい姿

### 「庄栄校区の今：良さ・良かったこと」

#### 地域内のつながり・子どもとのふれあい

- 心・地域の人同士のつながりが強い
- 昔は60才以上の方から元気もらってた
- 子どもと一緒に行事に参加できる ←ふるさと祭りetc
- 子育て世代と地域のつながりつくれた
- 孤独で子育てをしてる親御さん支援

#### 子育てしやすい

- 防犯パトロール、公園清掃
- 英会話、畑、茶道、クッキング等の講座 (小学校低学年の子が多い)
- 教育必要機能ぎゅっとつまっている。子育てしやすい
- PTAでは役員同士のつながりがある

### 「庄栄校区に将来こうなってほしい」

#### いかに自治会に入ってもらおうか

- 自治会の加入の少なさ
- 自治会の加入率上げたい
- 自治会に入っていない人の情報がない
- 行政と自治会バランス

#### 共通理解からはじめよう

- 若い人忙しい
- 共働きになっている (7割くらい)
- 若い人にあった地域とのつながり方を
- PTA・自治会へのイメージの悪さ
- 自治会に入っていない若い親にどう呼びかける？
- おせっかいい時には必要

#### 災害対応・災害時行動シミュレーション

- マンションに避難できるように
- 災害の種類での対応のちがいを (洪水のときにマンションに避難するなど)
- 災害時対応の情報共有
- 高齢者同士でもできるとよい

#### 次世代の担い手を増やすために

- 自治会⇔市民 自治会員ではなく市民という考え方
- マンションも将来は高齢化
- 若い人の次の担い手不足
- 若い人にいかに参加してもらえるか
- 自治会に入るメリットない (公園とか)

#### 子育て世代と地域の接点を増やす⇒子育てしやすい環境づくり

- 子育て世代同士のつながりと子育て世代と地域のつながり
- ⇒0才の間に地域と交わる接点が必要
- 子育てサロンを実施したい
- 親子でふれあう時間を増やす！
- 情報共有の場を設けて、継続的なつながりづくり

### 「庄栄校区の今：課題・困ったこと」

#### 活動継続

- 行事が中止になって少ない
- 継続する上で成果と問題点がはっきりしてない
- コロナで活動していないことで、活動しないことに慣れてしまってる。活動再開をどのようにするか
- 自治会長が毎年かわって、引継ぎを丁寧に行えない

#### 自治会員→少なさ課題 (災害時)

- 役員負担大、次の担い手ない。人の入れ替えが多く、活動の継続が難しい
- 世代間での (高齢者の方～若い人) 情報共有できてない
- 若い人への活動参加へのアピールの場ない
- プライバシーと情報共有、どっちをとるか
- 各世代の情報を行政におしてもらいたい (例：サポート必要な人、どこにいるか)
- 地域の人に子供たちを見守って欲しい

## 庄栄校区の将来のありたい姿

## [庄栄校区の今：良さ・良かったこと]

## 人・コミュニティ

- ・ 社会資源、地域活動が充実している
- ・ フレンドリー
- ・ 連携が図りやすい
- ・ 同じ目標に向かう協調性
- ・ 地域のことを熱く考える方が多い
- ・ 活動して達成感や失望感を共有出来る

## 環境美化

- ・ ゴミ置き場の改善が進んでいた
- ・ 河川敷に手すりがついた
- ・ 春日神社の清掃活動継続してる
- ・ カラス対応が成功
- ・ 安威川川床がキレイになった⇒災害不安（少）

## 住みやすさ・利便性

- ・ スーパー、歯医者 多い
- ・ 不自由しない

## 公園

- ・ 公園・児童遊園がキレイに管理されている

## [庄栄校区の今：課題・困ったこと]

## 人・コミュニティの関係が希薄化

- ・ 若い世帯は増えてきたが関係が希薄
- ・ 子ども達への要望を保護者が抑制
- ・ 若者の減少によりスポーツレクリエーションの不参加多くなる
- ・ 会員数を増やす手立て（子ども会）

## 防犯・交通安全面の課題

- ・ 自転車運転危ない、曲がり方がスピード高
- ・ 庄交番巡査の交通安全パトロール少ない（キーポイント地）

## [庄栄校区に将来こうなってほしい]

## 地域のつながりを増やそう

- ・ 世代間での継承
- ・ 地域ボランティアを増やす
- ・ 老人会、福祉委員会、民生委員会、おしゃべりサロンの連携
- ・ ●在宅親子 ●保・幼・小 ●地域の人 つながりがあるといい

## 子どもの関わり・つながりを増やそう

- ・ 各自治会での子ども会の発足
- ・ 子ども会会員数の増加
- ・ 地域のイベントと子どもが気軽に参加できる（更に）

## 防犯・交通安全の取り組み

- ・ 道路交通、路面標識の改修 「とまれ」と停止線 大阪府警担当
- ・ ゴミ置場のない集合住宅にゴミ置場をつくる。市条例制定 求む

## 考え方を変えてチャレンジしよう

- ・ 新発想でつくる。ふるさと祭を考えよう
- ・ 環境変化に応じた団体活動硬直化打破
- ・ 改善や改革は言わないと始まらない
- ・ 過去の活動にとらわれない新しい活動の発掘

## 庄栄校区の将来のありたい姿

## [庄栄校区の今：良さ・良かったこと]

## 人・人情

- ・ 心が熱い人がたくさんいる
- ・ 上の人達が指導してくれる

## 交通・利便性

- ・ 図書館、医療、買い物など、利便性が高い

## 地域の魅力

- ・ 清掃活動によって地域全体が綺麗
- ・ 桜並木が自慢

## 子どもの見守り

- ・ 児童数が増えており、見守り活動を頑張っている。

## 防犯

- ・ 犯罪が少ない

## [庄栄校区の今：課題・困ったこと]

## 役員の担い手不足

- ・ 若い世代が自治会に入らない
- ・ 役を負担に感じて、引き受けてくれる人がいなくなった
- ・ 担い手不足の背景には、昔からいる人たちに意見を言にくい雰囲気もあるのではないかと
- ・ 自治会の加入が減っていることで、役を3人交代で回しているような地域もある

## 活動の認知度が低い

- ・ 子どもの見守りのためのパトロールなどしているが、あまり知られていない

## コロナ禍での活動の停滞

- ・ 福祉敬老会ではハイキングなど活動していたが、コロナ禍で発展できなかった

## [庄栄校区に将来こうなってほしい]

## 若い人が地域に関われるようにしたい

- ・ 地域が今後も綺麗であり続けるために、今は高齢者中心に清掃活動をしているが、若い人にも引き継いでいきたい
- ・ 地域に若い単身者が増えている。職場と家との往復だけでなく、地域で過ごす時間が増えて、愛着も持ってもらえるなど、若い世代と地域との関わりも考えたい。
- ・ 大学が多いので、大学生との連携も
- ・ 子育て世代は忙しいが、小さなことでもできることから参加してもらい、参加のきっかけをつくらたい
- ・ 通学の見守り活動などは親と地域との関わるきっかけになるかもしれない

## 地域の居場所づくり

- ・ 高齢者のサロンを第2・4土・火曜日にしている
- ・ 子ども食堂も一緒にやるなど、高齢者だけでなく多世代で関われる場所になったらいい
- ・ 老若男女問わず、いつ行っても誰かがいるような居場所があったらいいな

## 庄栄校区の将来のありたい姿

### [庄栄校区の今：良さ・良かったこと]

#### 色んな活動がある

- ・ 放課後子ども教室 ボランティア30人ぐらい
- ・ 趣味や特技を教えてもらう ボランティア
- ・ 有志が子どもの見守りをしている
- ・ 子どもとの関係ができた ボランティアの方との関係ができた
- ・ クラブ活動の子たちが一生懸命してくれる

#### 高齢者向けの活動

- ・ 地区福祉委員会 活動年8回
- ・ ハイキングは多くの参加がある。60～70人が参加
- ・ 生き生き健康サロンはチラシもつくって活動
- ・ オークタウンの老人会は集会所で開催(22名)
- ・ 年一回のハツラツバスは人気の活動

#### 庄栄は活動が活発なイメージ

- ・ 各団体のトップの人が熱心なのが魅力
- ・ おやじの会(PTAの活動サポート)が特徴的?
- ・ 自治会活動に「サポーター」を3名位置づけた←手伝いのハードルを下げるためにつくった

### [庄栄校区に将来こうなってほしい]

#### 公園に花壇をつくれたら

- ・ 今は公園が草ボーボー
- ・ ⇒将来は児童公園に花壇をつくれたら

#### 地域の防災力を高めたい

- ・ 地域防災の組織づくりも考えたい
- ・ 庄栄だけ自主防がない
- ・ 昔は庄北のドブ掃除をみんなでやっていた

#### 子供のうちから地域に参加する仕掛け

- ・ 小さい子がイベントに参加して思い出づくり
- ・ 大きくなって運営にかかわれるような流れ
- ・ 子どもが参加できる行事をつくりたい
- ・ ⇒子どもカーニバルの企画(コロナで休止)
- ・ 発表の機会も少ない

### [庄栄校区の今：課題・困ったこと]

#### コロナ禍での活動の停滞

- ・ 老人会・子ども会の廃止も
- ・ 単一自治会での活動は少ない
- ・ ボランティア集まらない
- ・ 準備の負担が大きい(高齢の対応のために)
- ・ コロナで休止中

#### 自治会等の運営が大変

- ・ 役のなり手が見つからない...自治会参加減
- ・ 自治会のメリットは?と聞かれる
- ・ 役が多くて(自治会・自治連・公民館)大変
- ・ 子育て世代の活動参加に限られる
- ・ 若い人はいるはずだけど、参加してもらえない
- ・ 生活環境が変わってきた(マンション・賃貸の方)
- ・ 保護者も共働きが多い
- ・ 開発の時に自治会に参加しない前提のマンションもある
- ・ 自治会がないマンションにも活動に関心がある方もいるはず
- ・ リタイアの年齢も上がっている

#### 活動の負担感が大きい

- ・ どの団体も後継者が足りない
- ・ 魅力があるけど、その分運営が大変
- ・ 庄栄だけ二日間やっていた
- ・ ふるさとまつりなどイベントがたたくさんあった

5

## 第1回WSのまとめから整理したテーマ

	庄栄校区の今「良さ・良かったこと」	庄栄校区の今「課題・困ったこと」	庄栄校区に将来こうなってほしい
1班	○地域内のつながり・子どもとのふれあい ○子育てしやすい	○活動を継続させる面での課題 ○自治会員の減少による課題(災害時など)	○いかに自治会に入ってもらえるか ○共通理解からはじめよう ○災害対応・災害時行動シミュレーション ○次世代の担い手を増やすために ○子育て世代と地域の接点を増やす ⇒子育てしやすい環境づくり
2班	○人・コミュニティ ○環境美化 ○住みやすさ・利便性 ○公園	○人・コミュニティの関係が希薄化 ○防犯・交通安全面の課題	○地域のつながりを増やそう ○子どもの関わり・つながりを増やそう ○防犯・交通安全の取り組み ○考え方を変えてチャレンジしよう
3班	○人・人情 ○交通・利便性 ○地域の魅力 ○子どもの見守り ○防犯	○役員の担い手不足 ○活動の認知度が低い ○コロナ禍での活動の停滞	○若い人が地域に関われるようにしたい ○地域の居場所づくり
4班	○色んな活動がある ○高齢者向けの活動 ○庄栄は活動が活発なイメージ	○コロナ禍での活動の停滞 ○自治会等の運営が大変 ○活動の負担感が大きい	○公園に花壇をつくれたら ○地域の防災力を高めたい ○子供のうちから地域に参加する仕掛け

テーマ①  
子育て・子育て

テーマ②  
地域の居場所づくり

テーマ③  
にぎわいづくり

テーマ④  
安全・安心

共通テーマ

○担い手不足  
○団体・活動の連携  
○つながり・交流の促進

## 第1回WSのまとめから整理したテーマ

### テーマ①：子育て・子育て

(例)

- ・小さい子がイベントに参加して思い出づくり
- ・大きくなって運営にかかわれるような流れ
- ・各自治会でのこども会の発足
- ・子育て世代同士のつながり・子育て世代と地域のつながり⇒0才の間に地域と交わる接点が必要

### テーマ②：地域の居場所づくり

(例)

- ・子ども食堂も一緒にやるなど、高齢者だけでなく多世代で関わられる場所
- ・老若男女問わず、いつ行っても誰かがいるような居場所

### テーマ③：にぎわいづくり

(例)

- ・公園に花壇をつくれば
- ・新発想でつくる。ふるさと祭を考えよう
- ・子どもが参加できる行事をつくりたい

### テーマ④：安全・安心

(例)

- ・災害対応・災害時行動シミュレーションの実施
- ・地域防災の組織づくりも考えたい
- ・防犯・交通安全の取り組み
- ・通学の見守り活動は地域との関わるきっかけになる

### 共通テーマ

#### ○担い手不足

(例)

- ・いかに自治会に入ってもらえるか(メリットが必用?)
- ・忙しい子育て世代が、小さなことから参加できるきっかけをつくる
- ・地域ボランティアを増やす

#### ○団体・活動の連携

(例)

- ・老人会、福祉委員会、民生委員会、おしゃべりサロンの連携
- ・大学生とも連携を

#### ○つながり・交流の促進

(例)

- ・共通理解からはじめよう
- ・若い世代・単身世帯と地域との関わりも考えたい。
- ・「在宅親子」「保・幼・小」「地域の人」のつながりがあると良い

以下テーマ別に分類

## テーマ①：子育て・子育て

### 庄栄校区の将来のありたい姿

#### [庄栄校区の今：良さ・良かったこと]

##### 子どもの見守り

- 児童数が増えており、見守り活動を頑張っている。

##### 子育てしやすい

- 防犯パトロール、公園清掃
- 英会話、畑、茶道、クッキング等の講座（小学校低学年の子が多い）
- 教育必要機能ぎゅっとつまっている。子育てしやすい
- PTAでは役員同士のつながりがある

##### 色んな活動がある

- 放課後子ども教室 ボランティア30人ぐらい
- 趣味や特技を教えてもらう ボランティア
- 有志が子どもの見守りをしている
- 子どもとの関係ができた
- ボランティアの方との関係ができた
- クラブ活動の子たちが一生懸命してくれる

#### [庄栄校区の今：課題・困ったこと]

##### 人・コミュニティ

- 若い世帯は増えてきたが関係が希薄
- 子ども達への要望を保護者が抑制
- 若者の減少によりスポーツレクリエーションの不参加多くなる
- 会員数を増やす手立て（子ども会）

##### 活動の認知度

- 子どもの見守りのためのパトロールなどしているが、あまり知られていない

#### [庄栄校区に将来こうなってほしい]

##### 次世代の担い手

- 自治会⇄市民 自治会員ではなく市民という考え方
- マンションも将来は高齢化
- 若い人の次の担い手不足
- 若い人にいかに参加してもらえるか
- ⇒0才の間に地域とが交わる
- 自治会に入るメリットない（公園とか）
- 子育て世代同士のつながりと子育て世代と地域のつながり
- 子育てサロンを実施したい
- 親子でふれあう時間を増やす！！
- ⇒地域で子育てしやすい環境づくり
- 情報共有の場を設けて、継続的なつながりづくり

##### 子どもの関わり・つながり

- 各自治会でのこども会の発足
- こども会会員数の増加
- 地域のイベントと子どもが気軽に参加できる（更に）

- 今は公園が草ボーボー
- ⇒将来は児童公園に花壇をつくれたら
- 地域防災の組織づくりも考えたい
- 小さい子がイベントに参加して思い出づくり
- 大きくなって運営にかかわれるような流れ
- 子どもが参加できる行事をつくりたい
- ⇒子どもカーニバルの企画（コロナで休止）
- 発表の機会も少ない
- 庄栄だけ自主防がない
- 昔は庄北のドブ掃除をみんなでやっていた

9

## テーマ②：地域の居場所づくり

### 庄栄校区の将来のありたい姿

#### [庄栄校区の今：良さ・良かったこと]

##### 地域内のつながり・子どもとのふれあい

- 心・地域の人のつながりが強い
- 昔は60才以上の方から元気もあってた
- 子どもと一緒に行事に参加できる ←ふるさと祭りetc
- 子育て世代と地域のつながりつくれた
- 孤独で子育てをしてる親御さん支援

##### 高齢者向けの活動

- 地区福祉委員会 活動年8回
- ハイキングは多くの参加がある。60～70人が参加
- 生き生き健康サロンはチラシもつくって活動
- オークタウンの老人会は集会所で開催（22名）
- 年一回のハツラツバスは人気の活動

#### [庄栄校区に将来こうなってほしい]

##### 地域のつながり

- 世代間での継承
- 地域ボランティアを増やす
- 老人会、福祉委員会、民生委員会、おしゃべりサロンの連携
- ●在宅親子 ●保・幼・小 ●地域の人 つながりがあるといい

##### 地域の居場所づくり

- 高齢者のサロンを第2・4土・火曜日にしている
- 子ども食堂も一緒にやるなど、高齢者だけでなく多世代で関われる場所になったらいい
- 老若男女問わず、いつ行っても誰かがいるような居場所があったらいいな

#### [庄栄校区の今：課題・困ったこと]

10

## テーマ③：にぎわいづくり

### 庄栄校区の将来のありたい姿

#### [庄栄校区の今：良さ・良かったこと]

##### 公園

- 公園・児童遊園がキレイに管理されている

##### 環境美化

- ゴミ置き場の改善が進んでいた
- 河川敷に手すりがあった
- 春日神社の清掃活動継続してる
- カラス対応が成功
- 安威川川床がキレイになった⇒災害不安（少）

#### 庄栄は活動が活発なイメージ

- 各団体のトップの人が熱心なのが魅力
- おやじの会（PTAの活動サポート）が特徴的？
- 自治会活動に「サポーター」を3名位置づけた←手伝いのハードルを下げるためにつくった

#### [庄栄校区の今：課題・困ったこと]

##### コロナ禍での活動の停滞

- 老人会・子ども会の廃止も
- 単一自治会での活動は少ない
- ボランティア集まらない
- 準備の負担が大きい（高齢の対応のために）
- コロナで休止中
- 子育て世代の活動参加に限られる

##### コロナ禍での活動の停滞

- 福祉敬老会ではハイキングなど活動していたが、コロナ禍で発展できなかった
- 活動の負担**
  - どの団体も後継者が足りない
  - 魅力があるけど、その分運営が大変
  - 庄栄だけ二日間やっていた
  - ふるさとまつりなどイベントがたくさんあった

#### [庄栄校区に将来こうなってほしい]

- 今は公園が草ボーボー⇒将来は児童公園に花壇をつくれたら
- 地域防災の組織づくりも考えたい
- 小さい子がイベントに参加して思い出づくり
- 大きくなって運営にかかわれるような流れ
- 子どもが参加できる行事をつくりたい⇒子どもカーニバルの企画（コロナで休止）
- 発表の機会も少ない
- 庄栄だけ自主防がない
- 昔は庄北のドブ掃除をみんなでやっていた

##### 考え方・チャレンジ

- 新発想でつくる。ふるさと祭を考えよう
- 環境変化に応じた団体活動硬直化打破
- 改善や改革は言わないと始まらない
- 過去の活動にとらわれない新しい活動の発掘

11

## テーマ④：安全・安心

### 庄栄校区の将来のありたい姿

#### [庄栄校区の今：良さ・良かったこと]

##### 防犯

- 犯罪が少ない

#### [庄栄校区の今：課題・困ったこと]

##### 自治会員→少なさ課題（災害時）

- 役員負担大、次の担い手ない。人の入れ替えが多く、活動の継続が難しい
- 世代間での（高齢者の方～若い人）情報共有できてない
- 若い人への活動参加へのアピールの場ない
- プライバシーと情報共有、どっちをとるか
- 各世代の情報を行政におしてもらいたい（例：サポート

##### 防犯・安全

- 自転車運転危ない、曲がり方がスピード高
- 庄交番巡査の交通安全パトロール少ない（キーポイント地）

#### [庄栄校区に将来こうなってほしい]

- 今は公園が草ボーボー⇒将来は児童公園に花壇をつくれたら
- 地域防災の組織づくりも考えたい
- 小さい子がイベントに参加して思い出づくり
- 大きくなって運営にかかわれるような流れ
- 子どもが参加できる行事をつくりたい⇒子どもカーニバルの企画（コロナで休止）
- 発表の機会も少ない
- 庄栄だけ自主防がない
- 昔は庄北のドブ掃除をみんなでやっていた

##### 災害対応・災害時行動シミュレーション

- マンションに避難できるように
- 災害の種類での対応のちがいが（洪水のときにマンションに避難するなど）
- 災害時対応の情報共有
- 高齢者同士でもできるとよい

##### 防犯

- 道路交通、路面標識の改修 「とまれ」と停止線 大阪府警担当
- ゴミ置場のない集合住宅にゴミ置場をつくる。市条例制定求む

12



## 庄栄地区まちづくりワークショップ 第1回を開催しました！

### 1. 開催概要

庄栄地区に関わる様々な活動団体や自治会等の方々にご参加いただき、全3回のワークショップを通して今後のまちづくりを考えていきます。	第1回	庄栄地区の活動を考えよう	8/28 (日) 18時-20時
	第2回	庄栄地区のまちづくりテーマを深めよう	9/25 (日) 18時-20時
	第3回	庄栄地区で進めてみたいまちづくりアイデアを考えよう	11/13 (日) 18時-20時

### 2. 参加者

25名

### 3. 第1回の目標

- ・ワークショップの狙いや進め方の確認
- ・自己紹介や活動の紹介を通して、お互いのことを改めて知る
- ・地域の魅力や課題を共有し、魅力や課題を踏まえて、「こんなまちにしていきたい」という地域の将来像を考える

### 4. プログラム

4つのグループで分かれて、2つのテーブルワークを行いました。

#### ○ワーク①「お互いのことを知ろう！」

取り組んでいる活動について、活動内容や課題等を共有しました。

(活動に対する思い・悩み／地域の魅力・課題)

#### ○ワーク②「庄栄地区のこれからを考えよう！」

①で話し合った魅力・課題を踏まえ、(こうなって欲しい、こんなことをしたい)という将来像を模造紙に書き出しました。

### 5. テーブルワークの内容 (抜粋)

テーブルワークを通して、下記のようなテーマの意見やアイデアが出てきました。

テーブル	主な意見・アイデア
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人は忙しくて自治会にも入らない。若い人にあった地域とのつながり方を考えたい。</li> <li>・災害対応も重要。災害対応や災害時の情報共有も考えたい。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの活動にとらわれない新しい活動の仕方を考えていきたい。</li> <li>・老人会、福祉委員会、民生員会など、団体間の連携を強めたい。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代で集まる地域の居場所があったらいいな。</li> <li>・若い単身者も増えている。若い人が地域でもっと時間を過ごしたり、関りを持てるように考えていきたい。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さい子が地域のイベントに参加して思い出を作って、大きくなっても運営に関わるようになったらいいな。</li> <li>・子どもが参加できる行事を考えたい。</li> </ul>

次回は今回の意見交換で生まれたテーマを深めて、課題の解決に向けたアイデアを出し合います。是非ご参加ください。





## 第2回資料

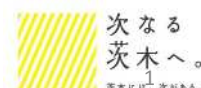
---



## 庄栄地区 まちづくりワークショップ

### 第 2 回

2022年9月25日（日）18:00-20:00

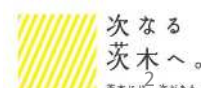


地域活動の活性化に向けたワークショップ

[ 庄栄地区 ]

## ワークショップ 全3回の流れ

第 1 回	庄栄地区の活動を考えよう	8/28 (日) 18時-20時
第 2 回	庄栄地区のまちづくりテーマを 深めよう	9/25 (日) 18時-20時
第 3 回	庄栄地区で進めてみたい まちづくりアイデアを考えよう	11/13 (日) 18時-20時



## 本日の目的

- ① テーマの現状と課題を洗い出そう
- ② 取組アイデアを考えよう

- 18:00- 開会挨拶・ワークショップの説明など
- 18:05- 前回の振り返り
- 18:15- アイスブレイク
- 18:30- 自己紹介
- 18:35- グループワーク①
- 19:05- グループワーク②
- 19:35- 発表・全体共有
- 19:55- 今後に向けて・閉会挨拶



## 話し合いで大切にしたいこと

1. みんなの話は反対せずフムフムと聞こう
2. 自分の話は簡潔にサクサクと話そう
3. 思っていることをドンドン出そう
4. みんなで力を合わせてワイワイ盛り上がろう
5. 楽しくニコニコと参加しよう

グループにはファシリテーターと呼ばれる、話し合いのサポート役がいます。  
(話をしやすい場にしたり、整理したり、より良い話し合いを促す人です)



# 話し合いで大切にしたいこと

合意形成の場ではありません

アイデアを出し合い方向性を見出す場

役割や権限・責任は  
一旦横に置いておきましょう！



## 第1回WSのまとめから整理したテーマ

	庄栄校区の今 「良さ・良かったこと」	庄栄校区の今 「課題・困ったこと」	庄栄校区に将来 こうなってほしい
1班	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域内のつながり・子どもとのふれあい</li> <li>○子育てしやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活動を継続させる面での課題</li> <li>○自治会員の減少による課題（災害時など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いかに自治会に入ってもらうか</li> <li>○共通理解からはじめよう</li> <li>○災害対応・災害時行動シミュレーション</li> <li>○次世代の担い手を増やすために</li> <li>○子育て世代と地域の接点を増やす</li> <li>⇒子育てしやすい環境づくり</li> </ul>
2班	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人・コミュニティ</li> <li>○環境美化</li> <li>○住みやすさ・利便性</li> <li>○公園</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人・コミュニティの関係が希薄化</li> <li>○防犯・交通安全面の課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域のつながりを増やそう</li> <li>○子どもの関わり・つながりを増やそう</li> <li>○防犯・交通安全の取り組み</li> <li>○考え方を変えてチャレンジしよう</li> </ul>
3班	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人・人情</li> <li>○交通・利便性</li> <li>○地域の魅力</li> <li>○子どもの見守り</li> <li>○防犯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○役員の担い手不足</li> <li>○活動の認知度が低い</li> <li>○コロナ禍での活動の停滞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○若い人が地域に関われるようにしたい</li> <li>○地域の居場所づくり</li> </ul>
4班	<ul style="list-style-type: none"> <li>○色んな活動がある</li> <li>○高齢者向けの活動</li> <li>○庄栄は活動が活発なイメージ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コロナ禍での活動の停滞</li> <li>○自治会等の運営が大変</li> <li>○活動の負担感が大きい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公園に花壇をつくれたら</li> <li>○地域の防災力を高めたい</li> <li>○子供のうちから地域に参加する仕掛け</li> </ul>

テーマ①  
子育て・子育て

テーマ②  
地域の居場所づくり

テーマ③  
にぎわいづくり

テーマ④  
安全・安心

共通テーマ

○担い手不足  
○団体・活動の連携  
○つながり・交流の促進

## 第1回WSのまとめから整理したテーマ

### テーマ①：子育て・子育て

(例)

- 小さい子がイベントに参加して思い出づくり
- 大きくなって運営にかかわれるような流れ
- 各自治会でのこども会の発足
- 子育て世代同士のつながり・子育て世代と地域のつながり⇒0才の間に地域と交わる接点が必要

### テーマ②：地域の居場所づくり

(例)

- 子ども食堂も一緒にやるなど、高齢者だけでなく多世代で関われる場所
- 老若男女問わず、いつ行っても誰かがいるような居場所

### テーマ③：にぎわいづくり

(例)

- 公園に花壇をつくれたら
- 新発想でつくる。ふるさと祭を考えよう
- 子どもが参加できる行事をつくりたい

### テーマ④：安全・安心

(例)

- 災害対応・災害時行動シミュレーションの実施
- 地域防災の組織づくりも考えたい
- 防犯・交通安全の取り組み
- 通学の見守り活動は地域との関わるきっかけになる

### 共通テーマ

#### ○担い手不足

(例)

- いかにも自治会に入ってもらおうか（メリットが必用?）
- 忙しい子育て世代が、小さなことから参加できるきっかけをつくる
- 地域ボランティアを増やす

#### ○団体・活動の連携

(例)

- 老人会、福祉委員会、民生委員会、おしゃべりサロンの連携
- 大学生とも連携を

#### ○つながり・交流の促進

(例)

- 共通理解からはじめよう
- 若い世代・単身世帯と地域との関わりも考えたい。
- 「在宅親子」「保・幼・小」「地域の人」のつながりがあると良い

7

## 地域活動の活性化に向けたワークショップ

[庄栄地区]

# 話し合いの準備運動 (アイスブレイク)

## お題トーク

テーマ選択と話し合いのための準備運動  
カードを1枚めくって、お題の質問に答  
えるゲーム

1人1つお題に沿って簡単にお話しして  
ください



## 話し合いの準備運動 (アイスブレイク)

- 子どもの頃の暮らし、遊び  
(子どもと地域との関わり、公園等)
- 居心地の良い場所  
(地域の居場所、好きな場所、サロン)
- 楽しかったイベント  
(祭り、催し)
- 最近こわいなあと思ったニュース  
(台風、災害、防犯)



## テーブル移動

関心のあるテーマのテーブルに  
移動してください

スクリーン

子ども・子育て世代  
と地域との関係を  
考えよう！

テーマ①  
子育て・子育て

老若男女問わず関  
わり合える、地域の  
居場所の在り方を  
考えよう！

テーマ②  
地域の居場所  
づくり

子どもが参加できる  
仕掛けやふるさと祭  
りなど、新しい発想  
で催しを考えよう！

テーマ③  
にぎわいづくり

地域の安全・安心  
は不可欠！災害対  
策や防災・防犯活  
動を考えよう！

テーマ④  
安全・安心



# グループに分かれて話そう

## 自己紹介

①名前

②所属団体等と  
活動内容



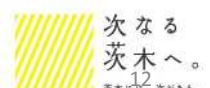
# グループでの話し合い

①テーマの魅力と課題を洗い出そう

②取組アイデアを考えよう

## 話し合いのゴール（目的）

第1回目の意見交換で出てきたテーマに対して、現状や課題を出し合った上で、課題を解決するために、又は、もっと楽しく続けていくための取組アイデアを出し合ひましょう。





## グループに分かれて話そう

### ① テーマの魅力と課題を洗い出そう

テーマに関する 【魅力・強み】	
テーマに関する 【課題・弱み】	

13

## グループに分かれて話そう

### ② 取組アイデアを考えよう

テーマに関する 【魅力・強み】	ここをもっと 伸ばそう！
テーマに関する 【課題・弱み】	新発想で こんなことも！
	【取組アイデア】
	この課題を 解決するには、

14

## 全体共有

各グループから  
話し合いの結果を共有

1 グループ5分程度でお願いします

次回は今回の発表内容を踏まえて、  
話し合いの材料を用意します。

15

## 次回（第3回）予定

今日話し合った、庄栄の将来像に向けて・・・  
庄栄地区で進めてみたい  
まちづくりアイデアを考えよう

2022年11月13日（日）  
18時 ～ 20時

	今ある活動の継続		
テーマに関する魅力 / できていること	<子どもの増加> ・マンションが建ち児童数が増えた ・マンションや新しい住居も増え子どもの人数が増え活気がでてきている		
テーマに関する課題 / もったいないところ	<コミュニティ・つながりの希薄化> ・若い子育て世代と顔を合わせる機会があまりない ・自治会や地域コミュニティに入っていない子育て世代へのアプローチ方法 ・若い世代の人とのつながり方 ・同じ集団登校班でも、名前も、どこに住んでいるかもわからない ・人が増えたことで知らない人が増えた ・引っ越して来られた方々の把握の仕方	<活動の担い手不足>	
取組アイデア	<参加者→担い手へ> ・定期的にお楽しみイベントを継続することで、継続的に参加してもらい、活動の担い手づくりにつなげていこう  <新たな取組> ・子どもが「発表する」「展示する」場、機会を増やす ・商店街のお祭りを復活 ・過去にこだわらない発想を募る ・太鼓教室の活動を広める(6年生4人だけ)→庄栄小でしている	<子どもと大人と一緒に取り組める・参加できるイベント> ・子どもと一緒に、中々出てこない大人を連れていく ・親に子どもの背中を押してもらいはじめの第一歩の機会を作る ⇒子どもを呼び込むことで、親も地域に入ってくる	<情報発信> ・各団体、個人のアピールの場を作る ・子ども達の遊びの良さや楽しさを知る機会を作る ・活動団体のイベント・取組みを幅広い人に伝える発信する仕組み方法 ・活動していて辛いことではなく、「楽しいこと」を伝える、広めていく ・活動している側が「活動していて良かったこと」や良い体験談を伝える

	いきいきサロン ・庄栄コミュニティセンターで今年5月から実施 ・独り身の高齢者や足の不自由な方などが利用している。1回で15人くらい。	
テーマに関する魅力 / できていること	<いきいきサロン> ・老人会に入っていないなくても参加できる ・足の悪い方も来てくれるなど、居場所のニーズはある  ↑ ↓ ・2つの居場所が違う曜日に実施しており、ニーズを補完し合っている。  <おしゃべりサロン> ・以前から藤原さんの家で実施している	<居場所とはどうあるべき?> ・行った人が役割を持つ ・⇒Notお客さん ・その人らしく振舞えるような居場所が大事！
テーマに関する課題 / もったいないところ	・居場所づくりの活動がまだ浸透していない ・自治会とは温度差があり、あまり関係ないかなという感覚で思われている ・知らない人からは何をしているかわからないので、なじめるか不安がある ・コミセンの予約が小さい部屋しか取れない時がある(時間や場所が毎回変わると定着しない) ・今は高齢者が中心だけど、いずれは子供や若者も巻き込みたい	
取組アイデア	<告知方法の検討> ・まずは来てもらって体験してもらえるように、告知を強化 ・⇒自治会と連携して掲示板に掲示  <活動間の連携> ・お互いに告知しあう  <こどもや若い世代も巻き込む> ・若いアイデアを集める  <開催場所をわかりやすく> ・場所が毎回変わるとわかりにくい ⇒空き家を活用して、一定大きな場所で決まった時間・場所で開催できるようになればいいな	

## 前回の振り返り

3班

### <テーマ>にぎわいづくり

	ふるさとまつり			<b>&lt;その他の取組&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室</li> <li>・春日神社(10/16)</li> <li>・運動会</li> <li>・どんどまつり(休止)</li> <li>・ふるさとまつり</li> <li>・文化展</li> <li>・神社で大晦日に福引き</li> <li>・老人会のバス旅行!</li> </ul> <p>↑</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者が少なくなっている</li> <li>・子どもの数がそもそも減っている・・・</li> <li>・長く休んでしまうと活動がゼロからになってしまう</li> </ul>
テーマに関する魅力 ／できていいこと	<b>&lt;関わりができる&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域全体で関われる場! 準備・片付けで関わりができる</li> <li>・地域で作り上げの中で関係ができる(自治会だけだと関係に限りがあり、子どもも少ない)</li> <li>・最初は面倒だけどやってみると楽しい!</li> </ul>	<b>&lt;子どもの参加&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちに覚えてもらえる!</li> <li>・自分の子どもと遊ぶイベント</li> </ul>	<b>&lt;参加のしやすさ&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通リすがりでも楽しめる</li> <li>・参加と運営が別れている</li> </ul>	
テーマに関する課題 ／もったいないところ	<b>&lt;準備・運営の負担が大きい&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客さんが多すぎる(2日で4千人)</li> <li>・天気が悪くなったら対応が必要</li> <li>・自治会単位で店をもって、義務感が大きかった</li> <li>・地域ボランティアだけで動いている</li> <li>・福引きも準備が大変なのでヤメたら?</li> <li>・実行委員会はなくなってしまった</li> </ul>	<b>&lt;情報発信が足りない?&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容の認知が外からだと難しい</li> <li>・若い人が最初に参加するきっかけがない</li> </ul>		
取組アイデア	<b>&lt;小さく再開する&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小さくてもとにかく再開させる方法を考える!</li> <li>・こじんまりした内容からリ・スタート! 段々大きくしたらいいのでは?</li> <li>・運営に参加してくれる方が増えるように、時期を他のイベントと調整しては?</li> <li>・イベントで自分たちの活動発表の場を求めている人たちもいる</li> </ul>	<b>&lt;コラボによる運営&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生との連携も考えている!</li> <li>・自治会単位でのテント運営でなく、いくつかの人たちで一緒に企画できたら負担が減るのではないかな?</li> <li>・直接参加しない自治会などがあったとしても、テントなどの物の貸し借りができたら運営参加者の負担が減るのでは?</li> </ul>		
	<b>&lt;運営負担の軽減&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営が楽しめるような企画に</li> <li>・次の担い手のためにマニュアル化が必要</li> </ul>	<b>&lt;情報を流すルートをつくる&gt;</b>		

## 前回の振り返り

4班

### <テーマ>安全・安心

	防災
テーマに関する魅力 ／できていいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年健全育成運動競技会が防災訓練等を年に1回実施している</li> <li>・民生委員が見守り活動を実施している</li> <li>・地域と連携した防災への取組のきっかけとして中学校が動こうとしている</li> </ul>
テーマに関する課題 ／もったいないところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が多く、災害時の対応をどうするのか不透明である</li> <li>・災害時における高齢者の一人暮らしへのアプローチとしてプライバシーか情報開示かという問題がつきまとう</li> <li>・民生委員が持っている情報が活かさない</li> <li>・高齢者だけでなく、障がい者への対応も必要であり、障がい者名簿を共有できていない</li> <li>・避難所運営や避難時の情報伝達、緊急時の連携等が不透明でいざという時に困る</li> <li>・自主防災組織がなく、防災に対する取組が行えていない</li> <li>・災害が起きたとして、その時間帯に地域に誰がいるのかわからない、担当の人が怪我をするかもしれないということもありえるので、誰もが対応できるように考える必要がある</li> <li>・いざという時に頼りになる想定の中に中学生が入るが、連携した取組がない</li> <li>・大阪北部地震の記憶も薄れてしまい、自宅内での対策が薄れてしまっている</li> </ul>
取組アイデア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰でも避難所が運営できるよう避難所運営のマニュアルを作成する</li> <li>・地域で避難所を運営できるようにする</li> <li>・学校と連携した避難所運営を実施する</li> <li>・他校区の自主防災組織や避難所運営のマニュアルを勉強する</li> <li>・自宅内のできる災害対策についての啓発をする</li> <li>・継続的に防災に取り組む組織を考える</li> </ul>

## 庄栄地区まちづくりワークショップ 第2回を開催しました！

### 1. 開催概要

庄栄地区に関わる様々な活動団体や自治会等の方々にご参加いただき、全3回のワークショップを通して今後のまちづくりを考えていきます。	第1回	庄栄地区の活動を考えよう	8/28 (日) 18時-20時
	第2回	庄栄地区のまちづくりテーマを深めよう	9/25 (日) 18時-20時
	第3回	庄栄地区で進めてみたいまちづくりアイデアを考えよう	11/13 (日) 18時-20時

### 2. 参加者

22名

### 3. 第2回の目標

- ・第1回の意見を踏まえてテーマごとの意見交換を深める。
- ・テーマに関する現状や課題、自身の思いなどを漏れないように出し合う。
- ・課題解決や、今よりさらに楽しく続けるためのアイデアを出し合う。

### 4. プログラム

今回は話し合いのテーマごとにテーブルを分けてテーブルワークを行いました。

#### ○ワーク①「テーマの魅力と課題を洗い出そう！」

テーブルに分かれて改めて、テーマに関する現状と課題を洗い出しました。

(テーマを選んだ理由、テーマに関する魅力・課題)

話し合いのテーマ	
①	子育て・子育て
②	地域の居場所づくり
③	にぎわいづくり
④	安全・安心

#### ○ワーク②「取組アイデアを考えよう！」

課題の解決や活動をもっと楽しく続けていくためのアイデアを出し合いました。

### 5. テーブルワークの内容 (抜粋)

テーブルワークを通して、下記のようなテーマの意見やアイデアが出てきました。

テーブル	テーマ	主な意見・アイデア
1	子育て・子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと親と一緒に楽しめる活動を増やして、親同士、子ども同士のつながりを増やしていきたい。</li> <li>・情報発信の仕方を考えていきたい。</li> </ul>
2	地域の居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいき交流広場やこども食堂など、居場所づくりの活動は様々あるので、団体間で連携していきたい。</li> <li>・まだまだ知られていないので、告知の方法を工夫したい。</li> </ul>
3	にぎわいづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとまつりについて、改めて運営の仕方を考えていきたい。</li> <li>・準備・運営の負担もあるので、参加のしやすさや負担を減らす工夫を考えていきたい。</li> </ul>
4	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所の運営をどうするのが肝。担当がいなくても運営できるようなマニュアルを作りたい。</li> <li>・学校との連携なども考えたい。</li> </ul>

次回は今回の意見交換で生まれたアイデアの実現に向けて、アイデアを具体化する意見交換を行います。是非ご参加ください！



## 第3回資料

---

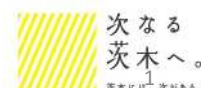




## 庄栄地区 まちづくりワークショップ

### 第 3 回

2022年11月13日（日） 18:00-20:00

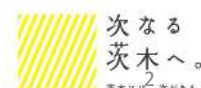


地域活動の活性化に向けたワークショップ

[ 庄栄地区 ]

## ワークショップ 全 3 回の流れ

第 1 回	庄栄地区の活動を考えよう	8/28 (日) 18時-20時
第 2 回	庄栄地区のまちづくりテーマを 深めよう	9/25 (日) 18時-20時
第 3 回	庄栄地区で進めてみたい まちづくりアイデアを考えよう	11/13 (日) 18時-20時



# 本日の目的

まちづくりのアイデアを具体化しよう

- 18:00- 開会挨拶・ワークショップの説明など
- 18:05- テーブルワークの進め方の説明
- 18:10- 各テーブルで振り返り
- 18:25- 事例紹介
- 18:35- 休憩
- 18:45- グループワーク
- 19:30- 発表・全体共有
- 19:50- 閉会挨拶



<テーマ>子育て・子育て

前回の振り返り

1班

	今ある活動の継続	
テーマに関する 魅力 ／できている こと	<子どもの増加> ・マンションが建ち児童数が増えた ・マンションや新しい住居も増え子どもの人数が増え活気がでてきている	
テーマに関する 課題 ／もっていない ところ	<コミュニティ・つながりの希薄化> ・若い子育て世代と顔を合わせる機会があまりない ・自治会や地域コミュニティに入っていない子育て世代へのアプローチ方法 ・若い世代の人とのつながり方 ・同じ集団登校班でも、名前も、どこに住んでいるかもわからない ・人が増えたことで知らない人が増えた ・引っ越して来られた方々の把握の仕方	<活動の担い手不足>
取組アイデア	<参加者→担い手へ> ・定期的にお楽しみイベントを継続することで、継続的に参加してもらい、活動の担い手づくりにつなげていく <新たな取組> ・子どもが「発表する」「展示する」場、機会を増やす ・商店街のお祭りを復活 ・過去にこだわらない発想を募る ・太鼓教室の活動を広める(6年生4人だけ)→庄栄小でしている	<子どもと大人と一緒に取り組める・参加できるイベント> ・子どもと一緒に、中々出てこない大人を連れていく ・親に子どもの背中を押してもらいはじめの第一歩の機会を作る ⇒子どもを呼び込むことで、親も地域に入ってくる
	<情報発信> ・各団体、個人のアピールの場を作る ・子ども達の遊びの良さや楽しさを知る機会を作る ・活動団体のイベント・取組みを幅広い人に伝える発信する仕組み方法 ・活動していて辛いことではなく、「楽しいこと」を伝える、広めていく ・活動している側が「活動していて良かったこと」や良い体験談を伝える	

## 前回の振り返り

2班

### <テーマ>地域の居場所づくり

	<p><b>いきいきサロン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庄栄コミュニティセンターで今年5月から実施</li> <li>・独り身の高齢者や足の不自由な方などが利用している。1回で15人くらい</li> </ul>
テーマに関する魅力 / できていいこと	<p><b>&lt;いきいきサロン&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人会に入っていないなくても参加できる</li> <li>・足の悪い方も来てくれるなど、居場所のニーズはある</li> </ul> <p style="text-align: center;">↑</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>・2つの居場所が違う曜日に実施しており、ニーズを補完し合っている。</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <p><b>&lt;おしゃべりサロン&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前から藤原さんの家で実施している</li> </ul>
テーマに関する課題 / もったいないところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居場所づくりの活動がまだ浸透していない</li> <li>・自治会とは温度差があり、あまり関係ないかなという感覚で思われている</li> <li>・知らない人からは何をしているかわからないので、なじめるか不安がある</li> <li>・コミセンの予約が小さい部屋しか取れない時がある(時間や場所が毎回変わると定着しない)空き家を探したこともあるが、なかなか良いところが見つからない</li> <li>・今は高齢者が中心だけど、いずれは子供や若者も巻き込みたい</li> </ul>
取組アイデア	<p><b>&lt;告知方法の検討&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは来てもらって体験してもらえるように、広報を強化したい</li> <li>・自治会と連携して掲示板に掲示</li> <li>⇒自治会としては、2ヶ月に1回くらいであれば協力できる</li> </ul> <p><b>&lt;活動間の連携&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いに告知しあう</li> </ul> <p><b>&lt;こどもや若い世代も巻き込む&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動をより良くするために、若いアイデアも集めたい</li> </ul> <p><b>&lt;開催場所をわかりやすく&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所が毎回変わるとわかりにくい</li> <li>⇒空き家を活用して、一定大きな場所で決まった時間・場所で開催できるようになればいい</li> </ul>

<地域の居場所とはどうあるべき?>

- ・参加者が受け身になるのではなく、役割を持つことができる
- ⇒Notお客さん
- ・その人らしく振舞えるような居場所が大事!

## 前回の振り返り

3班

### <テーマ>にぎわいづくり

	<p><b>ふるさとまつり</b></p>	
テーマに関する魅力 / できていいこと	<p><b>&lt;関わりができる&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域全体で関われる場! 準備・片付けで関わりができる</li> <li>・地域で作り上げる中で関係ができる(自治会だけだと関係に限りがあり、子どもも少ない)</li> <li>・最初は面倒だけどやってみると楽しい!</li> </ul>	<p><b>&lt;子どもの参加&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちに覚えてもらえる!</li> <li>・自分の子どもと遊ぶイベント</li> </ul>
テーマに関する課題 / もったいないところ	<p><b>&lt;準備・運営の負担が大きい&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客さんが多すぎる(2日で4千人)</li> <li>・天気が悪くなったら対応が必要</li> <li>・自治会単位で店をもって、義務感が大きかった</li> <li>・地域ボランティアだけで動いている</li> <li>・福引きも準備が大変なのでやめたら?</li> <li>・実行委員会はなくなってしまった</li> </ul>	<p><b>&lt;情報発信が足りない?&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容の認知が外からだと難しい</li> <li>・若い人が最初に参加するきっかけがない</li> </ul>
取組アイデア	<p><b>&lt;小さく再開する&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小さくてもとにかく再開させる方法を考える!</li> <li>・こじんまりした内容からリ・スタート! 段々大きくしたいのでは?</li> <li>・運営に参加してくれる方が増えるように、時期を他のイベントと調整しては?</li> <li>・イベントで自分たちの活動発表の場を求めている人たちもいる</li> </ul> <p><b>&lt;運営負担の軽減&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営が楽しめるような企画に</li> <li>・次の担い手のためにマニュアル化が必要</li> </ul>	<p><b>&lt;コラボによる運営&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生との連携も考えている!</li> <li>・自治会単位でのテント運営でなく、いくつかの人たちで一緒に企画できたら負担が減るのではないかな?</li> <li>・直接参加しない自治会などがあっても、テントなどの物の貸し借りができたら運営参加者の負担が減るのでは?</li> </ul> <p><b>&lt;情報を流すルートをつくる&gt;</b></p>

**<その他の取組>**

- ・放課後子ども教室
- ・春日神社(10/16)
- ・運動会
- ・どんどまつり(休止)
- ・ふるさとまつり
- ・文化展
- ・神社で大晦日に福引き
- ・老人会のバス旅行!

↑

- ・参加者が少なくなっている
- ・子どもの数がそもそも減っている・・・
- ・長く休んでしまうと活動がゼロからになってしまう

<テーマ>安全・安心

	防災
テーマに関する魅力 ／できていいこと	<p>&lt;防災の取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青健協(青少年健全育成運動協議会)が防災訓練等を年に1回実施している</li> <li>・中学校が、防災の活動に力を入れており、地域と連携した取組のきっかけになるのではないかと</li> </ul> <p>&lt;高齢者等の見守り&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員が見守り活動を実施している</li> </ul>
テーマに関する課題 ／もったいないところ	<p>&lt;災害時の不安&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が多く、災害時の対応をどうするのか不透明である</li> <li>・高齢者だけでなく、障がい者への対応も必要であり、障がい者名簿を共有できていない</li> <li>・民生委員が支援が必要な高齢者等の情報を持っており、災害時に活用できればいいが、プライバシーや情報管理の大変さが課題である</li> </ul> <p>&lt;防災活動の主体&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織がなく、防災に対する取組が行えていない</li> <li>・災害が起きたとして、その時間帯に地域に誰がいるのかわからない、担当の人が怪我をするかもしれないということもありえるので、誰もが対応できるように考える必要がある</li> <li>・いざという時に頼りになる想定の中に中学生が入るが、連携した取組がない</li> <li>・大阪北部地震の記憶も薄れてしまい、自宅内での対策が薄れてしまっている</li> </ul> <p>&lt;避難所運営の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔は避難所運営訓練をしたことがあるが、最近はしていない</li> </ul>
取組アイデア	<p>&lt;避難所運営のマニュアル作成&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰でも避難所が運営できるよう避難所運営のマニュアルを作成する</li> <li>・他校区の自主防災組織や避難所運営のマニュアルを勉強する</li> <li>・地域で避難所を運営できるようにする</li> <li>・学校と連携した避難所運営を実施する</li> </ul> <p>&lt;意識啓発&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅内のできる災害対策についての啓発をする</li> <li>・継続的に防災に取り組む組織を考える</li> </ul>

地域活動の活性化に向けたワークショップ

[庄栄地区]

## 話し合いで大切にしたいこと

1. みんなの話は反対せずフムフムと聞こう
2. 自分の話は簡潔にサクサクと話そう
3. 思っていることをドンドン出そう
4. みんなで力を合わせてワイワイ盛り上がろう
5. 楽しくニコニコと参加しよう

グループにはファシリテーターと呼ばれる、話し合いのサポート役がいます。  
(話をしやすい場にしたり、整理したり、より良い話し合いを促す人です)



## 話し合いで大切にしたいこと

合意形成の場ではありません

アイデアを出し合い方向性を見出す場

役割や権限・責任は  
一旦横に置いておきましょう！



## グループに分かれて話そう

### 自己紹介

①名前

②所属団体等と  
活動内容

③各グループで自由に

## グループでの話し合い

アイデアを実現するための  
ワークシートをつくろう！

### 話し合いのゴール（目的）

第2回目の意見交換で出てきたアイデアの種を更に具体化し、実現に向けて具体的内容をプロジェクトシートにまとめましょう。



## グループでの話し合い

アイデアを実現するための  
ワークシートをつくろう！

具体的には  
どんなことを  
する？

実現する  
ための  
課題は？

何から  
始められる？

# グループワーク

○班 ( )	
取組名称 (プロジェクト名称)	
取組の意義 (なぜ必要か)	
(既存取組) 取組のよいところ / 課題 (新規取組) 資源のいいところ / もったいないところ	
具体的な内容 (やること)	
誰がやる?	
最初の一步 (何からはじめる?いつから?)	
スケジュール (いつ、どのように進めるか)	
参加した皆さんからのメッセージ	

13

# 全体共有

各グループから  
話し合いの結果を共有

1 グループ 4 分程度 でお願ひします

14

## 3回のワークショップに参加いただき ありがとうございました！

みなさんで話し合った

- ・ 庄栄校区の課題やまちづくりのテーマ
  - ・ そのために取り組んでいきたいこと
- まとめを後日作成して、お渡しします

地域の中でも、今回のような話し合いの場を活用して  
アイデアを出し合いながら、  
よりよい地域づくりにつなげていきましょう！

次なる  
茨木へ。  
茨木には、次がある。



# アイデア深めるヒントにしたい 事例の紹介



## 各班共通

### ●活動をみんなに知ってもらう工夫

### 気軽に情報を伝えられる場づくり



神戸市「みんなの掲示板」



浅草観光センター



●活動をみんなに知ってもらう工夫

情報共有・情報発信は紙や掲示板でなくとも・・・

LINE公式アカウントを開設している地域組織も増えてきています。LINE公式アカウントでは、公式アカウントとつながるので、参加のハードルが低く、「使い慣れたLINE」なので、気軽に見てもらうことができます。



茨木市内でも、公式アカウントを活用して、情報共有や情報発信を円滑に進めている自治会もあります。



1班【子育て・子育て】

●大人も子ども一緒に楽しめる工夫

準備や片付けも参加者と楽しもう  
(お客さんにしない!)



茨木市「らくがき広場」



ハンズオン埼玉「おとうさんのヤキイモタイム」





## 2班【地域の居場所づくり】

地域活動の活性化に向けたワークショップ

[庄栄地区]

### ●活動をみんなに知ってもらおう工夫／子どもや若い人も巻き込むには ふらっと立ち寄っておしゃべりできる縁側のような場所

誰でも、ふらっと立ち寄れて、そこにいけば誰かに会える。まちの中にそんな場所があると人とつながっている安心感が高まります。

それも見える形でそんな場所があると、ふらっと参加したり、子ども達にも絶好の寄り道の場所になったり、新たな出会いにもつながるかもしれません。



明石市明舞ニュータウン



次なる  
茨木へ。  
茨木には、次がある。

## 3班【にぎわいづくり】

地域活動の活性化に向けたワークショップ

[庄栄地区]

### ●活動を無理なく続けるには？

準備や片付けも参加者と楽しもう  
(お客さんにしない！)



茨木市「らくがき広場」



ハンズオン埼玉「おとうさんのヤキイモタイム」



次なる  
茨木へ。  
茨木には、次がある。

### 3班【にぎわいづくり】

## ●活動を無理なく続けるには？

# 疲れる掃除も視点を変えればイベントに？！

その日、君の住ま町が巨大なゲーム空間になる。

～清走中 In 諏訪湖～  
市街地種・カヤック種

9.23	10:00-12:00 (PM) 13:00-15:00 (PM)
9.26	10:00-12:00 (PM) 13:00-15:00 (PM)
10.3	10:00-12:00 (PM) 13:00-15:00 (PM)

参加費・市街地種/カヤック種/大人1,000円・子供500円  
定員・市街地種/カヤック種/25名  
主催：株式会社 Gab  
参加申し込みや詳細はこちら！  
https://www.seisouchu.com/



長野県「清走中」

次なる  
茨木へ。  
茨木には、次がある。

### 3班【にぎわいづくり】

## ●活動を無理なく続けるには？

# まずは活動を知ってもらうところから！

働き世代はまず「知ってもらう」  
ことからスタート



若い世代も町内会活動に参加

ある地域では、各年代から役員を構成して若い世代を育成しています。  
若い役員には負担の大きい仕事はさせず、集まりに参加してもらい、地区の活動を知ってもらうように。  
準備期間を経ることで、将来運営する際にはスムーズにまとめられるように！

出典：いわき市「はつらつ自治会・町内会活動事例集」

次なる  
茨木へ。  
茨木には、次がある。



### 3班【にぎわいづくり】

#### ●活動を無理なく続けるには？

イベントの利益を他の活動の資金に！



資金づくりにもつながる文化祭のバザー

## バザーでお年寄り 支援の資金づくり

住民有志の  
「お助け隊」が  
お年寄りを支援

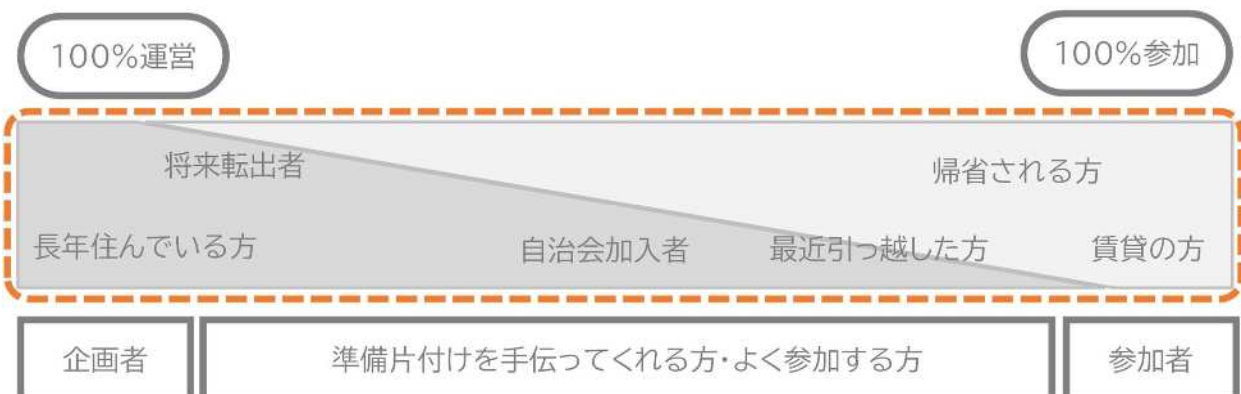
出典:いわき市「はつらつ自治会・町内会活動事例集」



### 3班【にぎわいづくり】

#### ●活動を無理なく続けるには？

暮らし方はどんどん多様に  
色々な関わり方を受け止めることが大切かも？

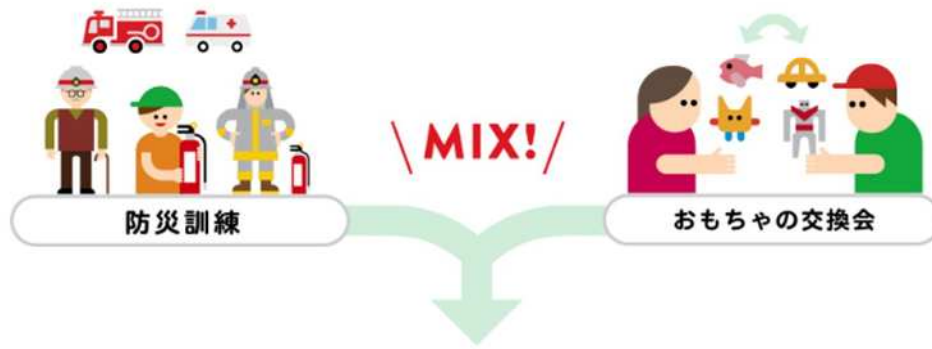


## ●多世代で防災の取組に参加するには？

### 大事な取組を楽しいイベントと重ねよう！

防災をもっと身近に、もっと楽しく。

家族や友達と楽しみながら防災知識が身につくイベントです。



神戸市「イザ！カエルキャラバン」

次なる  
茨木へ。  
茨木には、次がある。

#### イザ！消火作戦！ EXTINGUISH THE FIRE!



水消火器でのあてゲーム①



水消火器でのあてゲーム②



水消火器でのあてゲーム③



対決！バケツリレー

#### イザ！救出作戦！ HELP PEOPLE HAVING TROUBLE!



ジャッキアップゲーム



毛布で担架タイムトライアル



応急手当ワークショップ



**1** いらなくなったおもちゃを持って行こう！  
遊ばなくなったおもちゃを持って行くと、「カエルポイント」がもらえます。



**2** 「カエルポイント」で好きなおもちゃをゲット！  
「カエルポイント」は、会場に集まったおもちゃと交換することができます。



**3** たのしい防災体験でカエルポイントを貯めよう！  
防災体験に参加しても、「カエルポイント」がもらえます。楽しく学んで、ポイントをためましょう。



**4** オークションで特別なおもちゃをゲット！  
イベントの最後には、特別なおもちゃが手に入るオークションを開催。ためたポイントでレアなおもちゃを落札しよう。

## 4班【安全・安心】

## ●多世代で防災の取組に参加するには？

## 子どもの防災意識を高めるためのイベント実施！



的づくりをする子ども達

三島校区では子どもたちに参加してもらうきっかけづくりとして、まちづくり協議会やこども会と連携し、「初期消火訓練用の的作り」を企画しました。

狙い通りに工作を楽しみに多くの子どもが的作りに参加し、付き添いで30・40代の親御さんも来てくれました。

的作りに参加した親子が、11月の防災訓練にも参加し、30・40代にも初めて参加してもらうことができました。



茨木市三島校区



## 4班【安全・安心】

## ●多世代で防災の取組に参加するには？

## 小学校と連携した防災教室



三島小学校と連携して小学4年生を対象として防災教室を実施しています。

継続的に参加してもらえるように、防災教室終了後にももらえる「修了証」を持って11月の防災訓練に行けば、「非常食のカレー」をもう1つプレゼントするという工夫もしています。

子どもや若い世代の防災意識を高める取組を行うことで、教える側である地域の防災士の意識の向上にもつながっているそうです！

茨木市三島校区







1 班

テーマ	『子育て子育て』
取組名称（プロジェクト名称）	子どもと大人が一緒に楽しむイベント
具体的な内容	<p><b>①子どもから高齢者まで一緒に楽しむイベント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おゆずり会（バザーみたいな）、おもちゃ病院の人も呼ぶ</li> <li>・高齢者と一緒に参加できるように（不用品の持ち寄り）</li> <li>・しゃぼん玉を使ったイベント</li> <li>・子供と大人でカルタ</li> <li>・昔の遊び、コマ回し、あやとり etc.</li> <li>・カルタ、紙芝居</li> <li>・芋掘り（お土産つき、地域の畑好きな人の力を借りて）</li> </ul> <p><b>②昔の活動を今にあったものにアレンジするイベント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の行事の復活</li> <li>・ふるさと祭り、みこし</li> <li>・地藏盆</li> </ul> <p><b>③学校と連携するイベント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年初開催の「庄フェス」をバージョンアップ（①参加団体を増やす②実行委員会形式で地域一体で取り組む③継続して大学生にも入ってもらう（追大・藤井先生））</li> <li>・花植え隊（子供と大人で植えて、みんなで水やりして育てる）</li> </ul> <p><b>④その他必要な取組→情報発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA ブログ発信する（今は更新頻度少ない）</li> <li>・小学校からのミマモルメでの情報の発信（小学校に関連する地域の活動やイベントなど）</li> <li>・庄栄地区の SNS の立上げ（インスタなど）</li> <li>・地域の掲示板を活用（各団体の活動や募集など）</li> <li>・誰でも使えるフリーの掲示板がほしい</li> </ul>

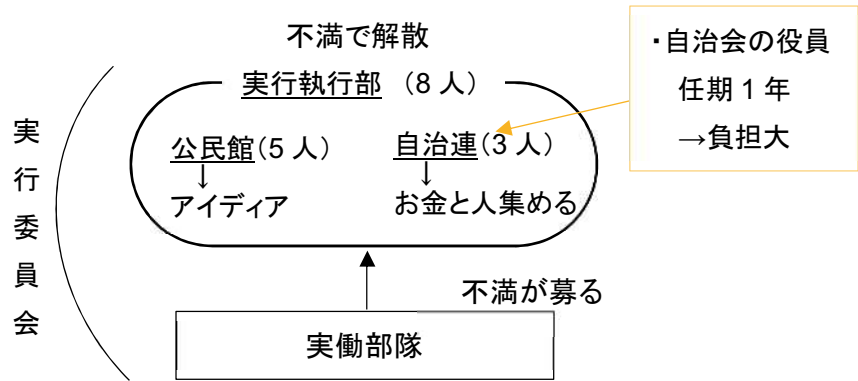
2班

テーマ	『地域の居場所づくり』
取組名称（プロジェクト名称）	誰でも憩える居場所づくり
取組の意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に学び合える場があることで、生涯学習につながる</li> <li>・（多世代で関わり合える場があれば）大人や高齢者は子どもからたくさんエネルギーをもらえる</li> <li>・居場所があることで、高齢者や子どもの見守りにもつながる</li> <li>・役割を持つことがいきがい・やりがいにつながり → 存在意義に繋がる</li> </ul>
取組の課題とできていること	<p><b>●既にできていること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の居場所づくり（いきいきサロン）を今年から始めた</li> </ul> <p><b>●課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居場所の活動を大きくしようにも、開催場所がない</li> <li>・スタッフのリソースが限られる</li> <li>・告知の方法がまだ弱い →どう興味を持ってもらうかを考えないと。</li> <li>・いろいろな人を巻き込んでききたい</li> </ul>
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>サロンと「子育て広場」</u>を一緒にしてはどうか（理想）</li> <li>・高齢者、子ども、多世代が混じった居場所</li> <li>⇒一度、イベント的に実施して見える化しよう！</li> <li>⇒その後、おいおい間口を広げていこう</li> </ul>
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年から始めよう！！</li> </ul>
どこで？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閉園した保育園が使えるかもしれない。</li> <li>・許可が得られるかわからないため、他にもどこかいい場所がないか探す</li> </ul>
誰と連携？	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子ども・子育て関係の活動主体</li> <li>・隣の校区、<u>子ども食堂</u></li> <li>・<u>放課後子ども教室</u></li> <li>○他にも<u>地域内にもいろいろな団体</u>がある</li> <li>↓</li> <li>・まずは声掛けをして意見交換したい！</li> </ul>

<p>まず最初は・・・</p>	<p><b>①サロン活動を軌道に乗せる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきサロンはまだ始まったばかり。次のステップにつなげるためにはまず軌道に乗せる必要がある</li> </ul> <p><b>②話し合いの場を作る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代交流を生み出すためには、高齢者関係だけで話し合うのではなく、子育て関係の活動とも連携していく必要がある。</li> <li>・まずは声をかけて、意見交換や将来像を考えることから始めよう！</li> </ul> <p><b>③思い描く像を実験的にやってみる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居場づくりは大切だけど、知らない人が参加するのはハードルがある。また、将来像があっても、それをみんな知らない。</li> <li>・一度、多くの人の目に触れる形で地域の居場所づくりを実施して、できることや課題を考えてみるのもいいかもしれない</li> <li>・将来像を共感して仲間になってくれる人もいるかも！</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●みんなの掲示板もやってみたい</li> <li>・今あるコミセンの掲示板は掲載許可が厳しいところがある。</li> <li>・誰が貼っていい掲示板があれば、活動をより発信していけるのではないかな。</li> </ul>

テーマ	『にぎわいづくり』
取組名称（プロジェクト名称）	ふるさとまつりをふたたび・・・。
取組の意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちにとっては同窓会の場（大人にとっても）</li> <li>・お年寄りにとっても子どもを見れる、関われる</li> <li>・地域のつながりを深める</li> </ul>
取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きくなりすぎた。テントだけでも13～15 梁はだしていた。</li> <li>・運営負担が大きいだけでなく、運営側の高齢化も問題となっている。</li> <li>・スタッフだけで40～50 人いるが高齢化している。</li> <li>・低価格で様々な物品を販売していることに加え人手が必要であることから、開催にあたり資金面での課題は存在する。</li> </ul>
具体的な内容	<p><b>①小さく始める</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちょうちんをやめる</li> <li>・食べ物の販売をやめる</li> <li>・地域外の人参加（客として）は行わない。</li> <li>・最小限のコンテンツを準備し始めるが、慣れてきたら段々と規模を大きくする方針で実施。</li> </ul> <p><b>②会則をつくる！！</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会の会則を少しでも決める。</li> <li>・会長が会則のたたき台を作成し、それをもとにみんなで話し合いを行う。</li> <li>・会則において、実行委員会は決定機関と執行部によって成立し、決定機関にすべての決定権があり、執行部は決定機関に提案を行うという体制にすることを盛り込む。</li> <li>・ <b>決定機関</b> 決定 ↓    ↑ 提案 <b>執行部</b></li> <li>・会則をつくることで運営していくための土台をつくる</li> </ul> <p><b>③公民館を巻き込む</b></p> <p><b>④夏場は暑いので、9月に実施する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年月のスケジュールとの兼ね合いも必要になる</li> </ul>

	<p><b>⑤若い力を持ってくる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・追手門学院との連携が考えられるが、資金面での調整が必要になる。</li> </ul>
<p>従来のふるさと祭りの体制と経緯</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔は盆おどりをするお祭りであった。 ⇒盆踊りを復活させる意見もあったが、踊り手いなければ大人も教えられない</li> <li>・会議の回数が多いことが負担としてあがったため、会議の回数を減らした結果、解散した実行執行部のあとにはいる役員が決まらず実行委員会が解散となった。</li> </ul> <p><b>●従来の執行部の体制</b></p>



お祭り後のフィードバックについて

- ・実施後に反省会はしていたが、なあなあになっていた。
- ・反省会をしても次の実施は一年後であり、フィードバックを活かせておらず、表面的な課題しか見えていなかった

テーマ	『 防災まちづくり 』	
取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三島中での12/3の合同研修会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所運営の実際の課題 →担当者が来れなかった問題</li> <li>・避難所の建物の確認、避難所の高さ確認</li> <li>・庄栄から2～3人参加。中学生も参加、全部で40名</li> </ul>
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いざという時の人材・協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生も帰宅困難になる可能性 →避難所の事を知りたい</li> <li>・生徒が地域に入ってくれるようにしたい</li> <li>・追手門学院も防災に力を入れてくれている</li> <li>・消防団も三島地区単位</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要配慮者への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護事業所連絡会（圏域ごとに連携していこうとしている）</li> <li>・マップを作ろうとしている</li> <li>・どこにどれだけヘルプがいるのかわかってない</li> <li>・施設に集中しすぎてしまうかも</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所が機能するようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で開催・運営できるように</li> <li>・垂直避難の協力関係が必要</li> <li>・避難所開設への流れを作る必要</li> <li>・市の職員が鍵を開きに来てくれるというのだが・・・ →いざという時に機能するか？</li> <li>・避難しても食糧の備蓄もない</li> <li>・避難所運営マニュアルWSをやれるようにしたい！</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報をどう伝えるのか考える</li> </ul>	<p><b>○ハザードマップをどう使う？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・細かすぎて分からない</li> <li>・参観日に防災のプログラムを入れる！</li> </ul> <p><b>○各家庭での対策を啓発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区で分かりやすく伝えていく</li> <li>・写真とかで示す。電柱とかにも掲示する。</li> </ul> <p><b>○災害掲示板を設置する</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災の取組を進める体制づくり</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組まなければいけないネタはあるが検討がとまってしまう。</li> <li>・施設毎にしか取り組みができていない</li> <li>・自治会でも防災に関する活動をやってたけど、コロナでできなくなった。警察と協力して取り組んでいた。</li> <li>・安威川が氾濫した際に5階をオープンに・・・という・話</li> </ul>

		し合いで終わってしまっている (UR) (?)
誰と連携？	・誰が声をかけるのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱い人たち</li> <li>・小学校の青健協 (プラットフォームになってる)</li> <li>・PTA の地区委員がなくなったのは痛い</li> <li>・学校長は人事異動で変わってしまう。地域に住んでもないし難しい</li> </ul>
	・危機管理課からも発信をお願いしたい！	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎防災の大切さを PR</li> <li>・熱い人を募る！</li> <li>◎防災ワークショップ → 茨木市からの声かけがあるとよい</li> </ul>
まず最初は・・・	◎ <u>熱い思いを語ることははじめよう</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組みをしている人で<u>報告しあう</u></li> <li>・ユニホームから?! (<u>有志から</u>)</li> <li>・話をするところからスタート</li> <li>・<u>少人数</u>でも実施する</li> </ul>





## 庄栄地区まちづくりワークショップ 第3回を開催しました！

### 1. 開催概要

庄栄地区に関わる様々な活動団体や自治会等の方々にご参加いただき、全3回のワークショップを通して今後のまちづくりを考えていきます。	第1回	庄栄地区の活動を考えよう	8/28 (日) 18時-20時
	第2回	庄栄地区のまちづくりテーマを深めよう	9/25 (日) 18時-20時
	第3回	庄栄地区で進めてみたいまちづくりアイデアを考えよう	11/13 (日) 18時-20時

### 2. 参加者

22名

### 3. 第3回の目標

- ・テーマごとに事例紹介を行い、アイデアづくりのヒントを得る。
- ・第2回の意見交換で出てきたアイデアの種を更に具体化する。
- ・アイデアの実現に向けて、今後の取組を整理して共有する！

### 4. プログラム

テーマごとにテーブルを分けてテーブルワークを行いました。

○ワーク「アイデアを実現するためのワークシートをつくろう！」

第2回で出てきたアイデアを具体化し、実現に向けて取り組む内容をプロジェクトシートにまとめました。

### 5. テーブルワークの内容（抜粋）

テーブルワークを通して、下記のようなテーマの意見やアイデアができました。

	テーマ	主な意見・アイデア
1	子育て・子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと大人と一緒に楽しめるイベントづくりについて話し合いました。バザー的なお譲り会でおもちゃを持ちよる他、高齢者まで一緒に参加できるようなカルタや紙芝居などが出ました。</li> <li>・また、情報発信のための取組として、小学校との連携やSNSの立ち上げなども話し合いました。</li> </ul>
2	地域の居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代で誰でも憩える居場所づくりを目指して、子育ての活動との連携や、まず話し合いの場を設けることなどを話し合いました。</li> <li>・また、今すぐに居場所を立ち上げるのは難しいけれど、一度実験的に実施することで、仲間集めに繋げていくことなどを話し合いました。</li> </ul>
3	にぎわいづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賑わいづくりに向けて、ふるさと祭りをもう一度復活させるためにできることを考えました。</li> <li>・小さく始めることや、暑い夏場を避けて実施すること、実行委員会の体制などを考えました。</li> </ul>
4	防災まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災まちづくりに向けて、有事の避難所運営や、その体制づくりについて話し合いました。</li> <li>・また、要配慮者への対応や大学との連携等についても話し合いました。</li> </ul>

ワークショップはこれで終了ですが、地域の中でも今回のような話し合いの場を活用してアイデアを出し合いながらよりよい地域づくりにつなげていきましょう！

